

## 第48回 まちづくり（広報まつぎ 令和7年12月号掲載）

地方創生や地域活性化とは？ 2014年5月に増田レポートにより、「宣告896の自治体が消滅する可能性がある」と公表されました。2024年に公表された第2弾でも、744の地方都市が消滅するとされています。当町もその中に含まれています。

そこで、ふるさとを持続可能な地域にするために何が必要か？ 本当に地域が消滅してしまうのか？ 消滅するということはどういうことなのか？ 自分なりに考えてみました。愛するふる里「松崎町」を未来へ、次世代へつなぐために何が必要か？ 答えは、その地域に人が住み、なりわいを続け、外から人が訪れ続けることでした。地域の人口が少子高齢化により減り続けている昨今、関係人口の創出により、地域に関わる人口を増やすことによって、地域に活力が生まれ、住む人に誇りと自信が持てるようになります。外から訪れるの方が、松崎町を「素晴らしい地域だ」「人の温もりを感じる風情だ」「行き会う人の優しさやあいさつに感動した」といった声が数多く聞こえます。地元の方がこれらを誇りに思わなければ、訪れる人は減っていくでしょう。そうならないように地域の魅力を再発見し、誇りとすることがまちづくりの一丁目一番地だと思います。